

国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（令和5年度第6回）議事概要
日 時：令和5年9月29日（金）10：30～12：00
場 所：国立がん研究センター 管理棟 第一会議室 ※Webex 使用
出席者：中釜斉理事長、平沼直人理事、山内英子理事、本田麻由美理事、
小野高史監事、近藤浩明監事、島田中央病院長、大津東病院長
欠席者：間野博行理事、北川雄光理事、

理事会冒頭、理事長より東病院元職員の逮捕についてお詫びの言葉があった。

I. 前回（令和5年度第5回）議事録の確認

- ・ 前回議事録について了承。
- ・ 前回議事録署名人を本田理事と近藤監事に依頼。

II. 審議事項

1. 組織改正について

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・ 国際先進診療部門の設立は非常に良い試みであると思う。円安が進む昨今、日本に来れば、高レベルの治療を低価格で受けられるということが世界的な流れである。今後、国際診療を充実させ、日本の高レベルな医療を世界に発信するまたとない機会である。この機会を活用するためにも「ここに電話をすればワンストップで患者さんが何をすればよいかかわかる」ような仕組みを充実させるべきである。
 - 国際診療において開発と診療はリンクするものであり、同時に活性化させることで開発を加速させるという思いでの組織改正であるが、センター全体のインフラ整備、表示など総合的な取り組みがまだまだ不足しているので重点を置いて検討していきたい。
 - ・ 国際診療の充実是国内の患者さんへのサービス向上にもつながっていくことを期待している。
 - 一側面としてゲノム医療、希少がん、小児がんの分野で国内のみの情報ではなく国外の情報を収集することが国内の患者さんの治療に反映できることもある。グローバルな視点での医療提供を考えていきたい。
- ### 2. 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する標準業務手順書」第12条（研究に関する不適切事案に関する報告）の改訂について
- 資料に沿って報告された。

3. 病院長候補者選考委員会委員の選定について

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・ 選考委員会はいつから開催されるのか
- 来年度の院長選考に向け、11月を目途に活動を開始、年明け1月を目途に院長選考を行うことを目指している。
- 院長の任期はどのくらいか。
- 基本的に3年間であるが、中央病院においては新型コロナウイルスの影響で一年延長し

4年間、東病院長は特定機能病院になる前から在任しているので、8年間在籍となるが、今年度末で定年のため、選考に入ることになる。

- 選考においては申請の段階で65歳以下ということが条件か。
- 申請の段階で65歳以下を条件とすることは違法となってしまうが、選考の要素として年齢を考慮することはある。
- ・ 選考委員について、法令では経歴の記載も求められているが記載はなくていいのか。
- ホームページ掲載の際には簡単な経歴をつけることにしている。

III. 報告事項

1. 東病院元職員の逮捕について
2. 収賄事件に関するセンターの対応状況の公表について
資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・ 報告事項1と2においては、業者とNCC職員の両者の共謀によって実現している点、本来あるべき組織発注がなされておらず恣意的発注が発生していること、また内部通報が機能していないという点が共通する重要な問題点である。組織のリスクに関して重要度が高い事案が短期間に複数発生していることを鑑み、この部分に内部統制強化のリソースを集中させて取り組んでいく必要がある。また、発生原因の表面的な解明（調達手続きの改善等）にとどまらず、深掘りをして、コンプライアンス推進徹底まで視野に入れた再発防止策も必要である。監査の教科書において、不正は不正の動機、不正の合理化、不正の環境の三つが要因となり発生する。不正の動機、合理化は倫理観の欠如により実現する。不正が実現する組織環境は内部統制の脆弱さを示している。監事として、以上の観点から今後の取組みを検証させていただきたい。
- ・ 今回の事案に関する方向性として、内部で一度検証の上、有識者にご確認いただき、検証するということになるが、複数事案が発生しているということで、組織風土の改革は必要であると考え。どこが主導するのかも踏まえ、継続して議論をいただきたい。
- ・ 医療機器の製造販売後の調査及び試験の実施の基準に関する省令について、センター内でどのように周知すべきかも検討すべきと考え。東病院の件については警察の捜索差押等が行われたのか。また、今後行われる予定はあるのか。
- 差押等についてはコピーの提出を求められているものがほとんどで、原本の提出が求められたものはコピーをとって保管しているので、センターの対応の支障になることは無い。
- ・ 新聞報道では医長就任後にシェアが急増したとされているが、製品の採用が具体的にどのくらい増えたかは把握しているのか。
- ほぼ新聞報道のとおりだが把握している。
- ・ NCCには国民、患者から多大な期待が集まっており、今回の事案は国民、患者にとっても、NCC職員にとっても、非常に残念なことであると思う。原因や対応方針については包み隠さず公表していただきたい。ただし、民間企業と連携しながらより良い治療法、機器を作っていく風土はきちんと残していただきたい。
- ・ 組織風土改善について、職員へのコンプライアンス強化の研修を実施するとされているが、タイムリーな形で教育研修を実施することは大事である。現段階でどのような教育研修を行う予定なのか。
- 現在考えているのは、10月末～11月上旬で全職員を対象としたコンプライアンス研修（一般的なコンプライアンス研修に加え、今回のNCC事案も含め、具体例を示す）を予定している。
- ケーススタディを含みながらタイムリーに実施するのが重要である。ぜひともお願い

したい。

- ・研修に加え、組織風土の改革、環境整備等、難しい課題も含んでいる。一方的でなく、気づき、リスクの早期発見等も見据えた上での研修実施のため議論を深めていきたい。

3. 令和4事業年度における業務実績に関する評価結果について
資料に沿って報告された。

4. 令和6年度厚生労働省概算要求について
資料に沿って報告された。

5. 政府の会議の状況
資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・今後のがん研究のあり方については、来年度からのがん研究10ヵ年戦略の策定にも関係し、来年度からの研究、厚労科研等にも反映されるので、センターとしての対応方針についても、一体感をもって取り組んでいきたい。

6. 広報実績等
資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・年齢調整をした結果、老衰の死亡率が増えるということは老衰と他の要因が重なった結果なのか。
- 2025年にかけて団塊の世代が後期高齢者になるので、年齢調整をかけないと経年的な比較が困難になるため、結果的に老衰が増えたということである。

7. 投資委員会報告
資料に沿って報告された。

8. 8月分医業件数等
資料に沿って報告された。